

岐阜県 丹生川ダム

2013年グッドデザイン賞を受賞

都道府県施工のダムとしては“全国初”

『グッドデザイン賞とは』

- 1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組み（(財)日本デザイン振興会主催）
- デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加
- 受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれている



にゅうかわ 岐阜県 丹生川ダムがグッドデザイン賞 (平成25年10月1日)

～都道府県施工のダムとしては全国初～

☆丹生川ダムの概要

○丹生川ダムは、幾度となく人々を苦しめてきた洪水被害の軽減や農業用水、水道水の確保などを目的とするダムである。

『ダム型式』 重力式コンクリートダム

『ダム諸元』 堤高69.5m ・ 堤頂長227.0m
総貯水容量620万m³

『事業期間』 平成元年度～平成24年度

☆デザインの特徴

○ダムの上流部は風光明媚な木地屋溪谷として市民に親しまれており、自然環境と調和させるため、学識者、地元代表、事業者からなる丹生川ダム景観検討委員会において景観デザインを検討。

○ダム堤体の下流面は三枚の導流壁が下部に絞り込んだ形状で全体としてやわらかな表情を呈しており、上流面は穏やかな曲線と円柱を基調として、湖水を包み込む優しい雰囲気をかもしだし、周辺の自然環境が一体となった新たな景観の形成を図った。

☆審査委員の評価

○このプロジェクトは周囲の景観との調和したダム湖やダム本体のデザインのみならず、環境への配慮や管理事務所、広場など関連施設の丁寧なデザインとトータルなデザインコントロールが同時に計られている。

☆今後の取り組み

○岐阜県は、今回の受賞を契機に、丹生川ダムを観光や地域活性化に活用していただけるよう、高山市や飛騨市、旅行会社等と連携する新たな取り組みを始めている。

☆受賞対象

受賞対象名:丹生川ダム(岐阜県高山市)

事業主体名:岐阜県、高山市

分類:社会基盤、プラットフォーム

プロデューサー:岐阜県、高山市、丹生川ダム景観検討委員会

ディレクター:篠原 修(GSデザイン会議)

デザイナー:高須祐行(クリアリア):トータルコーディネート

一丸義和(国際石油開発帝石):堤体デザイン

川村宣元(川村宣元建築事務所):建築デザイン

吉谷 崇(設計領域):広場デザイン



ダム堤体下流面



ダム管理所